

さいせい

第32号 (H25年5月)

済生会みすみ病院
健康と福祉の情報誌

咲かせよういのち 世代を越えて いつまでも

発行者：藤岡 正導

● 済生会みすみ病院の理念と方針 ●

理念：医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

方針：『地域医療を支援します』『救急医療を実践します』『健康的な生活を支援します』



開院10周年記念市民公開講座

目次	●みすみ病院開院10周年	2
	●緩和ケアって何だろう？	6
	●リハビリ室だより	8
	●「体調表」を設置しました	10
	●病院だより	11
	●外来一覧表	12



みすみ病院 開院10周年

1987年（昭和62年）、結核療養所だった国立療養所三角病院は国の国立療養所統廃合政策により廃止が決定しました。しかしながらこの地より病院がなくなることは地元住民にとって死活問題であり、地元自治体を中心に「国立療養所三角病院存続期成会が設立され、地域を挙げた存続活動が展開されました。そのような中、1999年（平成11年）熊本県済生会に存続期成会より後継医療施設として進出要請がなされました。

熊本県済生会では検討プロジェクトを設け、マーケティングやヒアリングを進め、当地における医療機関の役割と必要な機能などを検証し、我々に何が出来るかを熟考しました。結果医療施設を運営することは経営的視点からは厳しいかも知れないが、「医療に困っている住民に手を差し伸べること」は済生会本来の主旨であり、我々を頼ってこられた地元住民の声に応えるように2003年（平成15年）3月に開院しました。

しかしながら廃止が決定し、築20数年が経過している施設・設備の痛みは激しく、しばらくは改修工事の槌音が止むことはありませんでした。2004年（平成16年）に現在の病床数のフルオープンとな





り、一般病床だけではなく回復期リハビリ病棟、亜急性期病床を有し、地元で療養できる環境を提供しています。

地域の高齢化に対応するために、リハビリテーションに重点をおき、中庭を改修しリハビリ庭園を設け、日が当たる遊歩道で散歩したり、畑で土いじりをされる姿が見られます。またMRIやCT、マンモグラフィをはじめ高機能医療機器を設け、地域医療を支える病院としての役割を担いたいと努力しています。

また病気にならず「最後まで自分らしく生きる」を支援するために保健予防医学にも注力し、地域公民館などに医師をはじめ病院スタッフが出向いて行う「出前健康講座」も昨年度は72回を数えました。他に宇城市の介護予防事業者や地域広域リハビリセンターの指定を受け、健康づくりのサポートも積極的に行っています。

医療以外にも「天草パールラインマラソン大会」では救護班として伴走したり、大会前週にはコースの清掃奉仕を手伝っています。また「三角みなと祭り」や「駅伝大会」にも参加し、地域の一員として皆さんに信頼され、身近に感じられる病院作りを進めています。



みすみ病院 開院10周年に寄せて

副院長 庄野弘幸



私たちが国立三角病院をひきついで10年になります。「地域の皆さんが安心して生活できる地域作りに貢献します」という病院の理念を掲げて、日常診療や救急医療を続けてきました。私にとってはお久しぶりの10年でしたが、小学生だった子供が大学生になっているのを見ると、10年という月日の流れを感じます。気づけば、自分自身もメタボになっていましたので、減量をめざしているこの頃です。

10年前に開院した頃は、まだ、病院の改装も中途でしたので、半年ほどは工事の音がすごくなるさくて、入院患者さんには随分迷惑をおかけしました。三角や大矢野のことをあまり分かっていませんでしたので、地元の方々はこの地域のことをいろいろ教わりながら、「地域に根ざした病院」をめぐらしてがんばってきました。三角みなと祭りやパールラインマラソンにもお邪魔して、地域の方々

と交流することができました。皆さんのお家の近くの公民館などにお邪魔して「健康出前講座」も行うことができました。最近では、どの時期にどんな魚が捕れるとか、どんなおいしいものがあるとか、秋から冬にかけておいしい果物がたくさん出回り、そのために糖尿病のコントロールが悪くなる患者さんが増えるとか、そんなことも分かるようになってきました。研修医制度や看護基準などが変わったために、数少ない医療スタッフでの診療を余儀なくされましたが、患者さんから「あんな達が来てくれて安心よ。よかった。」「先生も頑張んなっせ」といった暖かい言葉をいただくことで、私たちの診療に対するやる気が続いてきたように思います。今度は、次の10年に向かって、さらに充実した医療を継続できるようにスタッフ一同、力を合わせて行こうと考えています。みなさん、今後も宜しくお願いします。

開院10周年に寄せて

副院長 藤本貴久



私たち「済生会みすみ病院」は国立療養所三角病院のあとをうけ2003年3月1日に開院し、おかげさまで創立10周年を迎えることができました。これまで、私たちの活動に寄せられたご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

また、先日10周年を記念して懇話会が開かれましたが、国立病院統廃合に伴う国立三角病院廃院に対して、地域住民の強い反対運動があり、当時の吉田三角町長、何川大矢野町長の両町長から済生会熊本病院へ後継病院設立要請があった経過など生の声を拝聴することができ、本当に大変なご苦勞があつて病院開院にこぎつけられたとの思いを強く抱きました。

もし「みすみ病院」がなかったら、救急患者は遠く熊本市内まで1時間以上かけて行くことを余儀なくされ、高齢化のすすんだ地域の人々には大変な負担を強いることになっていただろうと想像に難くありません。しかし、開院後も順風満帆に今日を迎えたわけではないことも知りました。

私は2010年、今から3年前に済生会熊本病院時代にお世話になった瀬井名誉院長（当時院長）、現藤岡院長（当時副院長）のお誘いがあり当地に赴任してきました。赴任翌年に、病院機能評価V6受審のプロジェクトを任せられ「みすみ病院」がいかに地域に根ざし、信頼される病院になってきたかを学ぶ機会がありました。開院当初の無名の時代、いかにして地域に認知してもらうか、出前健康講座をはじめとする先輩スタッフたちの苦勞がしのばれました。おかげで、10周年を迎える今、地域の基幹病院として比較的満足のできる診療が提供できるようになり、各医師の専門分野に関しては高度な医療を提供することも可能となってきました。

10周年を迎えた今、藤岡院長を中心として2013年の標語「再起動」のもとに地域に根ざした、信頼される病院を目指し理想の地域創りに貢献していけるよう一同努力してまいりますので今後とも皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

緩和ケアって何だろう？

1・2 病棟 緩和ケア認定看護師
まつした みさこ
松下 美佐子

みなさんは、〃緩和ケア〃という言葉を知っていますか？おそらく「聞いたことはあるけどよく分からない」という方が多いのではないのでしょうか？

私は、2012年（平成24年）に緩和ケア認定看護師の資格認定を受けました。今回上司より皆さんにお話する機会をいただきました。何を話そうかと思つた時、この疑問が一番に上がってきました。

そこで今回は「緩和ケアとは何か」、「どのようなことを行うのか」等をお伝えし、緩和ケアを有用に活用いただきたいと思います。

1. 緩和ケアとは。

緩和ケアとは緩和医療ともいわれ、「病気の治癒を目的としたものではなく、患者さんとご家族のさまざまな苦痛を取り除き、可能な限りその人らしく快適な生活を送れるようにする医療」です。緩和ケアの対象疾患は、およそ9割を「がん」で占めますが、それ以外に循環器や呼吸器、整形などの慢性疾患も含まれます。

2. 治療と並行して行われる緩和ケア。

これまでの緩和ケアは、〃治療を望むことができない末期がん患者のためのも〃と暗いイメージがありました。しかし現在の緩和ケアは、「がん」と診断された早い段階から適応されています。「がんと闘う時」も、「治癒が望めなくなった時」も緩和ケアは必要となります。病気の進行に伴い緩和

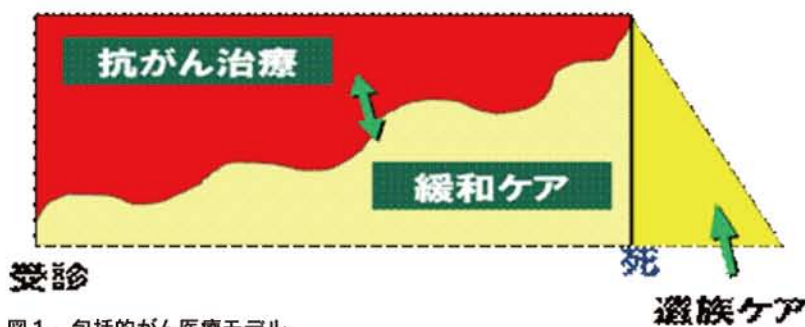


図1. 包括的がん医療モデル
(出典：緩和ケア医療学会 PEACE プロジェクト)

ケアの占める割合が増えてくる、とイメージしてくださいます(図1参照)。そのため「緩和ケアはまだ早い」ということはありません。患者さんのその時の状態にあったケアや情報が必要です。

3. 緩和ケアで行われていること。

緩和ケアで行う具体的な内容は

- ・痛みとその他の不快な症状から解放する。
- ・生きることを尊重し、誰にも例外なく訪れる

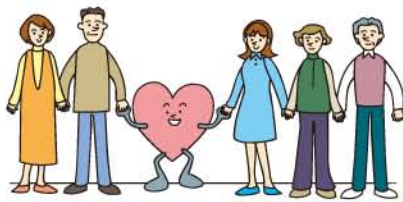
「死にゆく過程」に敬意を払う。

- ・死を早めることも、遅らせることもしない。

- ・患者のこころのケアや霊的な(スピリチュアル)側面のケアもあわせて行う。

- ・死は訪れるにしても、その時まで積極的に生きていけるよう支援する。

- ・「患者が病気に苦しんでいるとき」も、「患者と死別したあと」も家族をサポートする。
- などです。



4. みすみ病院での緩和ケア

当院では、2006年(平成18年)に緩和ケアプロジェクトチームが発足しました。現在、医師、薬剤師、看護師、リハビリ、医療ソーシャルワーカー(MSW)がメンバーとなって活動しています。各専門職種の視点から患者さん・ご家族の多様な問題・ニーズを把握し、対応を行うようにしています。また、当院スタッフの緩和ケア技術の向上のための取り組みも行っています。

「緩和ケアの中心は患者さんとご家族です」。

「患者さん・ご家族がどうしたいのか」という希望を最も大切にしています。もし、どうしたらよいか分からない場合は、そのことを医療スタッフへ伝えてください。また、長い療養期間の中で人の気持ちは移り変わっています。「思い」が変わっても構いません。今の患者さんの状況、希望をそのまま医療スタッフへ伝えていただくことが大切です。私たち医療スタッフは、揺れ動くお気持ちに寄り添い、希望を少しでも叶えられるよう、全力でサポートしていきたいと考えています。何かありましたら、いつでもご相談ください。

リハビリ室だより

理学療法士って何？

リハビリテーション室 理学療法士 いそだこういちろう 磯田幸一郎

当院リハビリテーション室には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3つの専門職種スタッフがいます。各スタッフは個々の専門的知識を駆使し患者さんの機能回復のお手伝いをしています。今回はその中の理学療法士の仕事についてご紹介します。

理学療法とは病気やケガ、加齢、障害などによって身体機能が弱った方々に対し、運動や物理療法（温熱、電気、水、光線など）を用いて治療を行うこととです。理学療法士は病院をはじめ、施設、市・区役所、障害福祉センター、研究所などで働いています。

例えば病院の場合、まず病気を悪化（＝再発）させないための管理や寝たきり予防、後遺症（マヒなど）に対する機能回復を中心に行います。病状が安定してきたら歩行練習やご自宅などに戻られるからの必要な動作の練習を中心に行います。

また病院を退院後のご自宅や施設などでは、その場所で必要な動きの維持や病気の悪化の予防などをリハビリとして行います。その他にも、障がいを持って生まれた子供たちやスポーツでケガを負ったプロスポーツ選手に対するリハビリや地域住民の健康維持増進への取り組みなども行っており、「赤ちゃん」から「老後」までの人生のあらゆる場面にサポートを行っています。

理学療法では主に基本運動と物理療法を行います。基本運動とは、「寝返り動作」や「起

き上がり動作」、「立ち上がり動作」、「歩行動作」など人間が基本とする運動のことを言います。ケガやマヒで不自由になった方に、その人にあった正しい動作を練習します。物理療法とは患部やマヒ部などに対し、「痛みを軽くしたり「障害（マヒなど）の回復を促したりするものです。ケガした部位を氷水で冷やすといった寒冷療法はもちろん、マヒが見られる部分へ電気をあて、治りを促すなどの

専門的な治療も行います。最近の医療は、「発病して全身状態が落ち着くまで入院する病院」、「しつかりリハビリを行う病院」、「生活の中でリハビリを行うための施設」など大まかに分かれていきます。当院リハビリの特色は、「発病し入院してからご自宅までの長い期間のリハビリが行える」点にあります。一貫して患者さんと長く向き合うことで、ご希望に添えるリハビリが

行えると考えています。つまり当院リハビリテーション室は地域に根ざしたりリハビリテーションを提供できる環境を兼ね備えています。当院のリハビリテーション室には理学療法士17名、作業療法士16名、言語聴覚士5名の計38名が所属しています。リハビリの活動は屋内だけではとどまらず、リハビリ庭園での野菜作りやグラウンドゴルフなど患者さんの日常と寄り添いながら進

めています。ご自身の不具合だけではなく、介護されているご家族の介助方法の悩みなど、なんでも結構ですので、院内でみかけましたら気兼ねなく御相談下さい。可能な範囲でお答えいたします。今後ともみすみみ病院リハビリスタッフがを宜しく願います。



【体調表】

本日の診察の際、参考にさせていただきます。
よろしければ待ち時間にご記入下さい。

記入後、診察室で医師にお渡し下さい。

担当医 () 生年月日 ()
氏名 ()

①本日の体調はいかがですか？
(良い・普通・少しきつい・とてもきつい)

②最近、食欲はありますか？
(ある・まあまあ・あまりない・食べられない)

③お薬は飲んでいますか？
(はい・いいえ) ※本日の診察前に薬師へご相談ください。

【体調表】

待ち時間にご記入ください

『体調表』を

設置しました

外来検討委員会

今年の1月15日から、外来の診察室前と薬局前（6箇所）に体調表を設置しました。

こんなときにぜひ使ってみてください。

- ・先生の前では緊張してうまく話せない
- ・今日の具合を聞いてほしい
- ・医師へ聞きたい、伝えたいこと
- ・忘れないようにメモとして



待ち時間でご記入いただき、診察室で担当の医師へ渡してください。
診察の際、参考にさせていただきます。

【体調表】

本日の診察の際、参考にさせていただきます。
よろしければ待ち時間にご記入下さい。

記入後、診察室で医師にお渡し下さい。

担当医 () 生年月日 ()
氏名 ()

①本日の体調はいかがですか？
(良い・普通・少しきつい・とてもきつい)

②最近、食欲はありますか？
(ある・まあまあ・あまりない・食べられない)

③お薬は飲んでいますか？
(はい・いいえ) ※本日の診察前に薬師へご相談ください。

④本日の診察で聞きたいこと、伝えたいことなど
ご記入下さい

※職員はこれを受け取ったら基本変へ！診察前は医師へ伝達！！

【体調表】

本日の診察の際、参考にさせていただきます。
よろしければ待ち時間にご記入下さい。

記入後、診察室で医師にお渡し下さい。

担当医 () 生年月日 ()
氏名 ()

①本日の体調はいかがですか？
(良い・普通・少しきつい・とてもきつい)

②最近、食欲はありますか？
(ある・まあまあ・あまりない)

③お薬は飲んでいますか？
(はい・いいえ) ※本日の診察前に薬師へご相談ください。

④本日の診察で聞きたいこと、伝えたいことなど
ご記入下さい

※職員はこれを受け取ったら基本変へ！診察前は医師へ伝達！！

ランラン駅伝大会参加

企画総務室

1月に行われた「みすみランラン駅伝」にリハビリスタッフ4名、事務員1名でチームを組み出場させていただきました。



本番1週間前、エースが練習中に肉離れを起こすというアクシデントもありましたが、代役の新人スタッフに頑張ってもらいました。地域の方々から「みすみ病院頑張れ!!」と声援を受けながら一人ひとり精一杯力走し、無事完走することができました。目標順位

は5位以内でしたが、惜しくも6位という結果でした。今回の悔しさを忘れず、みんなでまた練習を頑張っていこうと決意を新たにしました。今年度もこのようなイベントに参加し、地域を盛り上げていきたいと思っています。

開院記念 地域奉仕活動

職場改善委員会

3月2日(土)にみすみ病院開院記念地域奉仕活動として今年も各部署より多数の職員が参加し、パールラインマラソンのコースの清掃活動を行いました。当日は上天草市職員の方々の協力や、清掃途中には地域の方々からの声かけ等もあり、スタッフも一丸となって、沢山のゴミを拾う事ができ、とてもきれいになりました。



今年でみすみ病院は開院10周年となります。これからも「地域貢献」の一つとしてスタッフみんなで協力して続けていきたいと思っています。

新任式

企画総務室

平成25年度新任式が開催され、17名の新人職員と正職員になった看護師、コメディカルが揃い、吉見今日子看護師が抱負を述べました。その後、オリエンテーションで病院の診療方針や医療、就業規則や電子カルテ操作説明・AED取り扱い等の説明や消火訓練を行いました。また今年、昨年より実施している「OFFEJ Tビジネス接遇研修」が行われました。接遇の原則の「笑顔」「言葉使い」「応対の仕方」など、自分がどのようにやっているかをビデオに撮影し、より良くなるにはどうすれば良いかをグループで話し合いました。オリエンテーションの終了後配属になった各部署での実習となりました。



より良くなるにはどうすれば良いかをグループで話し合いました。オリエンテーションの終了後配属になった各部署での実習となりました。

開院 10 周年記念行事 市民公開講座

10 周年を記念して、「生活習慣病」をテーマとした市民公開講座を 3 月 2 日（土）には松島町のアロマで、4 月 14 日（日）にはみすみ病院で開催しました。

3 月 2 日	内科医師 磯部	「糖尿病について、合併症等」
	検査技師 中島	「糖尿病の検査について、血糖値、壊疽の画像」
	循環器 庄野副院長	「予防、治療について、基本的な考え方」
	薬剤師 廣田	「最近の生活習慣病治療薬について、OTC 薬、サプリメント等」
	管理栄養士 宮本	「糖尿病の食事について、実践について」

4 月 14 日	外科 大島診療部長	「がんの予防から治療」
	脳神経外科 藤岡院長	「脳卒中について」
	放射線技師 吉川	「CT、MRI 検査でわかる病気の話」
	認定看護師 西村	「脳卒中の予防について」
	管理栄養士 大川	「減塩食について」
	言語聴覚士 伊藤	「脳卒中と嚥下障害」



142 名の方が聴講に来て頂きました。ありがとうございました。

上記の講演は当院の「出前健康講座」でも行っております。

興味のある方、団体関係者の方、みすみ病院医療相談室までお問い合わせ下さい。

外来一覽表 5 月 20 日より変更になります。

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金
外科	午前	タナベ ダイロウ 田辺 大朗		オオシマ シゲキ 大島 茂樹	カイ ミキオ 甲斐 幹男	
整形外科	午前	ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦	ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦		ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦	
	午後		ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦			
脳神経外科	午前			フジオカ ショウドウ 藤岡 正導		フジオカ ショウドウ 藤岡 正導
	午後			フジオカ ショウドウ 藤岡 正導		
心臓血管外科	午後					サツサトシハル 佐々 利明
内科	午前		イソベ 博隆 磯部 博隆	イソベ 博隆 磯部 博隆		
循環器内科	午前	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	
	午後	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸		ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師			ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子	ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子
消化器内科	午前	ツキムラ テツト 築村 哲人	フジモト タカヒサ 藤本 貴久	ツキムラ テツト 築村 哲人		フジモト タカヒサ 藤本 貴久
	午後				ツキムラ テツト 築村 哲人	
泌尿器科	午前		済生会熊本病院医師		済生会熊本病院医師	
肝臓外来						フクバヤシ コウタロウ 福林 光太郎
腎臓病外来 (予約制)	午後		済生会熊本病院医師		済生会熊本病院医師 (第 4 週)	
糖尿病外来 (予約制)	午前					ホシノ アキヒコ 星乃 明彦 (第 2 週) マツオ ヤスト 松尾 靖人 (第 3 週)
禁煙外来 (予約制)	午後	ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子				ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子
乳腺外来	午前	タナベ ダイロウ 田辺 大朗		オオシマ シゲキ 大島 茂樹		
脳ドック (予約制)	午後			フジオカ ショウドウ 藤岡 正導		

※基本的に午後は予約となります。初めての方は午前 11 時までにはいらして下さい。



発行日 / 平成 25 年 5 月

発行所 / 熊本県宇城市三角町波多 775-1

社会福祉法人 恩賜財団 済生会みすみ病院 広報委員会

医事代表 / TEL 0964-53-1656 FAX 0964-53-1657

病院代表 / TEL 0964-53-1611 FAX 0964-53-1618

ホームページ <http://www.sk-misumi.jp>



明治 44 年創立 100 周年